

小倉山通信

平成27年12月5日
No.31

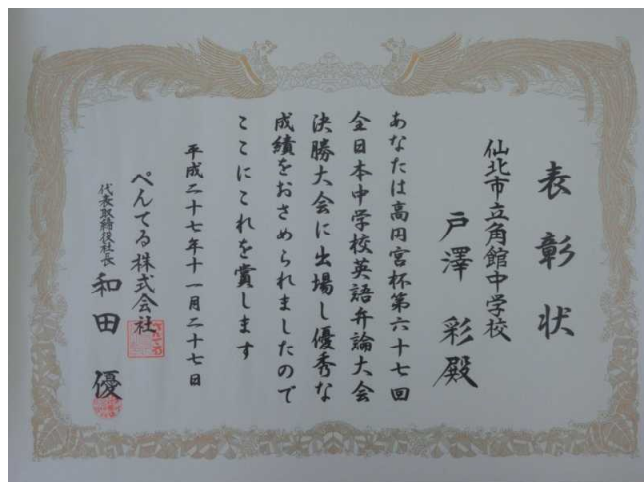
高円宮杯第67回全日本中学校英語弁論 全国大会 予選通過 決勝大会へ進む

11月26日(木)、標記大会で、本校3年生で全
県英語弁論大会優勝者の戸澤彩さんが、予選第3
部(北部日本地区 参加者38名)を通過し、決勝
大会に駒を進めました。

この日、予選を通過したのは7名で、予選第2
部南部日本地区の予選通過者と併せて、27名(予
定)での決勝大会となります。

決勝は27日(金)、11時15分から午後3時15
分まで、よみうり大手町ホールで開催されました。
決勝大会では、これまでに行った弁論大会のどれ
よりも充実した満足のいくできだったと話してい
ました。結果は、上位7名に入ることはできませ
んでしたが、自分の行った弁論に悔いはない、と
清々しい気持ちで大会を終えることができたそう
です。

大会の様子を聞くと、上位3位以内に入賞した
生徒たちは、まるで映画の一場面を見ているかの
ような、演技力が群を抜いていたそうです。英語
の発音、アクセント、イントネーションなど技能
に関することは、各県大会を上位通過した生徒の
皆さんですので、どの生徒の発表を聞いても、ネ
イティブスピーカー(英語を母国語とする人々)
のように聞こえたそうです。違ったのは、英語の
内容に関する表現力の豊かさだそうです。単に暗
記したものをそこで発表するのではなく、発表内
容をいかに相手に理解してもらえるように表現す
るのか、そこが上位入賞者とそうでない発表者と
の違い、だとお話していました。



また、大会運営から宿舎でのお世話はすべて、
過去の大会で入賞し、現在東京都内の大学に入学
している18歳から19歳のお兄さんお姉さんだっ
たそうです。そのボランティアの方々が、まるで
警察のように礼儀正しく、制服を身にまとい、今
回の発表者のお世話をしてくれたそうです。宿舎
に帰ってからは、その大学生の方々と2時間ほど、
ディスカッション、交流する時間もあり、その点
も大いに学ぶことが多かったということでした。

彩さんの所属する3年B組の学級の仲間からは
多大な応援をいただき、とても心強かったと彩さ
んは話していました。3日の皆さん、ありがとう
ございます。

今まで彩さんのスピーチは「すすかけ祭」で聞
いたことがあります。原文をここに改めて紹介
いたします。

(英語) Peace through Understanding
(日本語) 相互理解から平和へ

Everyone, I would like for you to please close your
eyes for four seconds...

In just those few short seconds a single life has
left our world. This life was lost in one of the many
wars being fought around the globe. It wasn't
necessarily the life of a soldier; the poor of the
world suffer greatly from war as well.

I think everyone has heard a story that they are
unable to forget. For me, it is the short story which I
have just told you. I think about this story every
time I hear the word "war". When I first heard it in
the sixth grade, it made me quite sad, but it also
made me think about the peace I have in my life and
why others aren't so fortunate.

This year, Japan honored the 70th anniversary of
the end of World War II. Every time I heard about
the war, I remembered that sad story from three
years ago. I realized that if in four seconds one life
is lost, in one hour that number rises to 900. In one
day, 21,600. Do these numbers surprise you like
they surprised me?

Of course, while I thought about these numbers,
I also began to dream of peace and what might bring
it to this world. In this moment, wars are being
fought around the world, yet many places remain so
peaceful. I began to wonder, "Why do some people
use guns, bombs, and all of their strength to kill
each other, while others use their mouths and words
to discuss their problems?"

I couldn't find an answer, and, at the beginning
of August, I decided to put these questions behind
me. I was going to Australia to study English for
two weeks, and I just wanted to have a good time.

In fact, I did have a good time, except for one
day when I ran into a little trouble. I had decided to
go shopping with a friend from China, but I had
trouble understanding the cashier. I started to get
confused, but my friend translated the cashier's
English into simple English so I could understand.
The cashier smiled and told me not to worry. "Being
in a foreign country is hard, after all." I was so
relieved when I heard this. She really seemed to
understand me, and so did my friend, who knew
first-hand about having trouble in a foreign country.

I came back from Australia a few days later on
August 15th, the anniversary of World War II. I
thought about my memories from the trip, but on
that day I started to think again about war and peace.

When I was on the plane, with all of these thoughts and memories mixed in my head, that's when the idea came to me. I remembered my friend and the cashier. I remembered having trouble at the store and how they understood the experience I was going through before I even said anything. Someone who didn't understand may have become angry or annoyed, but they were kind. Communication, I discovered, is about more than just language and speaking. It's also about the shared experiences that help us understand each other without speaking a word.

The answer to my questions from before started to become clear. When individuals fight or nations go to war it is because they can't truly communicate with one another. Without sharing or knowing each other's experiences, how could they reach a real understanding?

To make peace around the world, I believe all of us must try to improve international understanding. We can do this by meeting new people and speaking, listening, and sharing with them to establish real communication and bridges between cultures. No one can do it alone, so we all must make a small contribution. It may seem like it's just a dream, but I think it's very real. Together, if we can learn to understand one another, we can each take one small step towards making peace around the world.

日本語訳(概要)：みなさん、4秒間、目を閉じてください。今、世界中の戦争が原因で一人の命が失われました。兵士だけでなく、戦争が原因で苦しむ人も含まれます。私にとってこの話は忘れられません。

「戦争」という言葉を聞くといつも思い出します。穏やかな自分の生活と、そうでない人々との違いについて考え始めました。

今年、日本は戦後70周年を迎えました。

現在でも4秒に一人、1時間で900人、一日で21600人の命が失われています。その数の多さに驚きませんか？どうすれば平和になる？平和な国、戦争のある国……。なぜ銃や爆弾で殺しあうのでしょうか？問題を解決するために話し合いができるのに……。

8月上旬にオーストラリアでの語学研修に向かうため、私はその疑問をしまっておくことにしました。オーストラリアでは、充実した時間をすごしました。しかし、小さなトラブルが……。買い物をしていて、店員とのやりとりに困ってしまいました。混乱していた私の意図を、中国人の友だちが簡単な英語で店員に伝えてくれました。すると店員は笑って、

「心配しないで。慣れない海外生活、大変ね。

でも、がんばってね。」

私はとても安心しました。彼女は理解してくれたのです。同じような経験をした友だちも、私の気持ちをわかってくれました。そして私は、戦後70周年を迎えた終戦記念日に帰国しました。旅の思い出に浸る間もなく、また「戦争」と「平和」について考え始めました。帰りの飛行機でひらめいたことがあります。

オーストラリアでの友だちと店員を思い出しました。彼女たちは、私の状況を理解してくれました。そうでなければ、嫌がられたでしょう。

でも、彼女たちは親切でした。

この体験から学んだことは、ただ話すだけではコミュニケーションにならないということです。経験を共有することで、話さなくても理解し合えるのです。

「なぜお互いをよく理解しないまま戦争を起こすのか？」

それは本当のコミュニケーションがないからです。相手のことを知らず、経験を共有せずに、相手を思いやり、理解することはできません。世界の平和を実現するために、人類全てが国際理解を深めるべきです。

異文化の架け橋を作るために、いろいろな人と出会い、話し、聞き、経験を共有することによってそれは可能です。それは一人ではできません。だから、みんなが小さなことから貢献しなければなりません。

夢のような話ですが、それは想像ではなく現実だと思います。もし私たちがお互いを理解し合ったのなら、世界平和への第一歩を踏み出すことができるでしょう。

山口県から学校視察がありました

11月27日(金)の午前中、山口県山口市立大内中学校の先生が、視察訪問に来てくれました。

2時間目の授業を一覧し、3時間目、4時間目の途中まで、学校経営、研究説明等について意見交換・質疑応答をしました。

本校の生徒が、ほぼ全員、授業に集中していること、グループやペア学習のときに、学級の友だちとうまくやっていることなどにとても驚いていました。

前日は横手南中学校で理科専門監の授業を1時間、1学級を参観したのですが、角館中学校のすべての学年、学級を見せもらって、とても学ぶことが多かった、という感想でした。

大河研究主任、校長・教頭との協議で、授業技術・方法について懇談しました。山口県に本校のシステムをもち帰り、実践したいということでした。



◎ SAKATA希望ヶ丘カップバスケットボール大会 女子4位(11月28日~29日：酒田市営国体記念体育館)

・予選リーグ

角館〇83-25●山形六

角館〇66-35●酒田第一

・準決勝

角館●53-55〇酒田第三

・3位決定線

角館●42-44〇遊佐

1位 美郷中学校

2位 酒田第三中学校

3位 遊佐中学校

4位 角館中学校

優秀選手賞 戸村ほのか さん

なお、男子バスケットボール部(1年生5名)は、1勝3敗で惜敗でした。